

# Godox

合格証明書



GODOX  
WeChat  
公式アカウント

深圳市神牛摄影器材有限公司

所在地: 深セン市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区工场 2 棟

電話: 0755-29609320(8062) FAX: 0755-25723423

メールアドレス: godox@godox.com

[www.godox.com](http://www.godox.com)

Made in China | 705-XP2L00-05



# X PRO II L

TTLワイヤレスフラッシュトリガー  
取扱い説明書

## 目録

前書き	02	ZOOM値設定	16
警告	03	ブザー設定	16
部品	04	PCポート設定	17
本体	04	SHOOT機能設定	17
LCD表示画面	05	Bluetooth設定	18
電池装入	06	アプリダウンロード	18
電池残量表示	06	MENU: カスタムメニュー	19
ワイヤレス同期トリガーセット		互換性のあるフラッシュ型番	21
トップフラッシュ	06	互換性のあるカメラリスト	21
ワイヤレス同期トリガー屋外フ		仕様とパラメータ	22
ラッシュ	07	工場出荷時の設定に戻す	23
ワイヤレス同期トリガースタジオ		ファームウェアのアップデート	23
フラッシュ	08	注意事項	23
電源スイッチ	09	フラッシュトリガーの保守	24
省電力モード設定	09		
AFフォーカス補助ランプスイッチ	09		
チャンネル設定	09		
ワイヤレスID設定	10		
空きのチャネルスキャン設定	11		
モード設定	11		
拡大機能	12		
段階値の設定(パワー設定)	13		
露出補正装置	14		
ストロボ/パラメータ設定(出力 値、頻度、周波数)	14		
造形ランプ設定	15		

## 前書き

GODOX XPROII CXPro II L フラッシュトリガーをご購入いただき、ありがとうございます。

このフラッシュトリガーは、leica 製カメラの制御に用いる GODOX フラッシュであり、GODOX ワイヤレスXシステムを利用できるセットトップフラッシュ、屋外フラッシュ、スタジオフラッシュの操作に用います。マルチチャンネル制御、安定な信号、高い感度を備え、カメラマンの照明の配置を便利にし、さまざまな撮影上のニーズを満たすことができます。このトリガーは、leica 製のホットシャー付きカメラに適し、PC ポートを持つカメラに接続して使用することができます。TTL フラッシュと高速フラッシュ同期に対応でき、最大フラッシュ同期速度は 1/8000s です。

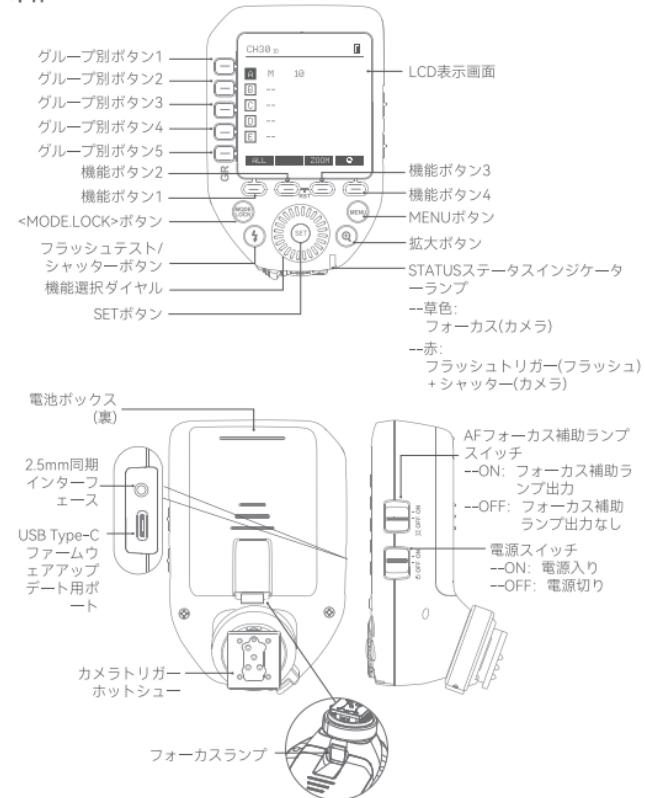
\*: 制限条件: カメラの最大シャッター速度は 1/8000s

## ⚠ 警告

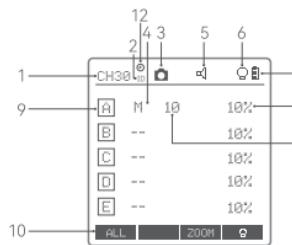
- ⚠ この機器を無断で分解しないでください。故障した場合は、当社または認定保守員に点検と修理を依頼してください。
- ⚠ この製品を乾いた状態に保ってください。濡れた手でこの製品に触れたり、この製品を水に浸したり、雨にさらしたりしないでください。
- ⚠ お客様が本製品に触れないようにしてください。
- ⚠ 可燃性や爆発性の雰囲気では使用しないでください。このような場合は、関連する警告サインに注意してください。
- ⚠ 50°Cを超えた高温環境には置かないでください。  
故障が発生した場合は、直ちにトリガーの電源を切ってください。
- ⚠ 電池使用上のご注意:  
この取扱説明書に記載している電池しか使用できません。  
新旧の電池や異なるタイプの電池を混用しないでください。  
メーカーからの警告や指示をよくお読みになり、遵守してください。  
電池を短絡させたり、取り外したりしないでください。  
電池を火中に投入したり加熱したりしないでください。  
逆方向で電池を取り付けていません。  
電池残量が低いとき、液漏れが発生しやすいです。製品の損傷を避けるために、本製品を長時間で使用しないか、電池残量が低いときに電池を取り出してください。  
損傷した電池の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。

## 部品

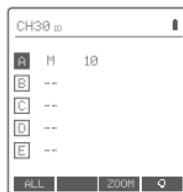
### 本体



## LCD 表示画面



1. チャンネル (32 チャンネル)
2. ID 識別番号 (99 の ID 番号)
3. カメラに接続
4. グループモード
5. ブザー設定
6. 造形ランプ設定
7. 電池残量表示
8. グループ別造形ランプ
9. グループ別
10. 機能ボタン対応のアイコン
11. 出力パワーグレード
12. 高速同期遅延



マルチグループ表示



シングルグループ表示



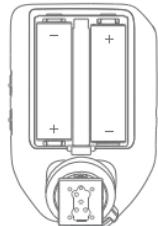
メニュー表示



マルチグループZOOM表示

## 電池装入

フラッシュトリガー裏の電池カバーを指動して開き、電池ボックス内のプラスとマイナスの指示に従って、それぞれ AA 電池 2 本を挿入します(別途購入必要)。



## 電池残量表示

使用する際に LCD 画面に電池アイコンを表示し、いつでも電池残量を確認できます。

LCD画面の電池残量記号表示	の説明
3本	電池残量が多い
2本	電池残量がやや多い
1本	電池残量が低い
フレーム	電池残量が少なくなり、すぐに電池を交換してください。
点滅	<2.5V電池残量がすぐになくなります(電池を交換してください。そうしないと、遠く離れた場合は点滅が漏れたり、点滅しない場合があります)

この電池残量は AA アルカリ電池のみに対して示します、ニッケル水素電池の電圧が低いので、この表を参照しないでください。

## ワイヤレス同期トリガーセットトップフラッシュ

使用方法: V1 シリーズのセットトップフラッシュを例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。



2. <MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、機能選択ダイヤルを <ワイアレス機能> に回し、<SET> ボタンを押してグループ別、モードとパラメータを設定できます。(詳細については、「フラッシュトリガー設定」をご参照ください)。

3. セットトップフラッシュ電源を入れ、ワイヤレスボタンを短く押して、画面にワイヤレスアイコンと <RX> スレーブユニットアイコンを表示させ、<MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、<CH>< チャンネル設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルに設定し、<Gr> グループ別の設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループに設定します。

(注: その他の機種のセットトップフラッシュの設定については、対応するセットトップフラッシュの取扱説明書に従ってください)

4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

## ワイヤレス同期トリガー屋外フラッシュ

使用方法: AD600Pro を例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。



2. < MENU > ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。< MODE/LOCK > ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。

3. 屋外フラッシュ電源を入れ、ワイヤレスボタンを短く押して、画面にワイヤレスアイコンを表示させ、<GR/CH> グループ別チャンネルボタン設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<GR/CH> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。

(注: その他の機種の屋外フラッシュの設定については、対応する屋外フラッシュの取扱説明書に従ってください)

4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

## ワイヤレス同期トリガースタジオフラッシュ

使用方法: QT III を例にとる

1. カメラの電源を切り、カメラホットシューのソケットにフラッシュトリガーを置き、フラッシュトリガーの電源スイッチとカメラ電源をオンにします。



2. < MENU > ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、フラッシュトリガーのチャンネル、グループを設定します。< MODE/LOCK > ボタンを短く押してフラッシュトリガーモードを設定し、ダイヤルを回してフラッシュトリガーの段階パラメータを設定します。

3. スタジオフラッシュに電源を入れ、電源スイッチをオンにし、MODE/ワイヤレスボタンを押し、画面にワイヤレスアイコンを表示させ、2.4G ワイヤレスステータスになります。<GR/CH> グループ別チャンネルボタン設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じチャンネルを設定し、<GR/CH> グループ別設定ボタンを押してフラッシュトリガーと同じグループ別を設定します。

(注: その他の機種のスタジオフラッシュの設定については、対応するスタジオフラッシュの取扱説明書に従ってください)

4. カメラのシャッターを押すとフラッシュが引き起こされ、同時にスタジオフラッシュトリガーの「ステータスランプ」が赤く点滅します。

注: スタジオフラッシュの最小出力値は 1/32、フラッシュトリガーの出力値を設定する際に 1/32 の値を設定する必要があります。スタジオフラッシュには TTL とストロボ機能ないので、フラッシュトリガーを設定する時に M モードを選択しないとスタジオフラッシュをトリガーできません。

## 電源スイッチ

電源スイッチを「ON」にして電源を入れ、ステータスインジケーターランプが表示しません

注意: 長時間で使用しない場合は、電力の消費を回避するために電源を切ってください!

## 省電力モード設定

1. 設定時間(60 秒 /30 分 /60 分)を超えてフラッシュトリガーを操作しない場合、システムは自動的に待機モードに入り、LCD 表示が消えます。

注: スリープ時間は MENU-STBY で調整できます。

2. 任意のボタンを押すことでスリープ状態のシステムをウイックアップできます。

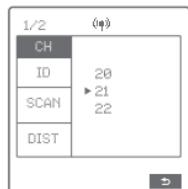
注: 省電力モードを使用しない場合は、<MENU> ボタンを短く押してカスタムメニューに入り、STBY を OFF に設定してください。

## AF フォーカス補助ランプスイッチ

AF 補助フォーカスランプスイッチを「ON」にして、AF フォーカス光線を出力できます。カメラのピントが合わない場合は、フォーカスランプが自動的に点灯します。ピントが合っている場合は、フォーカスランプが自動的に消灯します。

## チャンネル設定

1. <MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入ります。



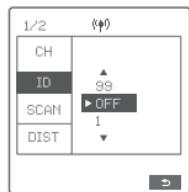
2. ダイヤルを < $\text{◀/▶}$ > に回し、<SET> ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、次に ダイヤルを <CH> チャンネルに回し、その後 <SET> ボタンを短く押して <CH> チャンネル設定画面に入ります。この時、ダイヤルを回して 1~32 チャンネルを選択することができます、選択したら、<SET> ボタンを短く押して <CH> チャンネルの設定を終了します。

注: 使用する前に必ずフラッシュトリガーと受信機を同じチャンネルに設定してください。

## ワイヤレス ID 設定

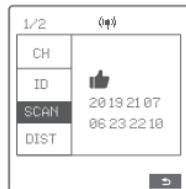
ワイヤレス伝送チャネルまたはワイヤレス ID 番号を変更することで撮影への干渉を回避することができます。マスターユニットとスレーブユニットのワイヤレス ID、チャネルは一致していなければトリガできません。

1. <MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入ります。機能選択ダイヤルを < $\text{◀/▶}$ > に回し、<SET> ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、次にダイヤルを <ID> に回し、その後 <SET> ボタンを短く押して ID 設定画面に入ります。この時、ダイヤルを回して OFF/1-99 を選択することができます、選択したら、<SET> ボタンを短く押して <ID> 設定を終了します。



## 空きのチャネルスキャン設定

他の人が自分と同じチャンネルを使うことを避け、撮影の干渉防止性能を高めるために、空きチャネルスキャン機能を使うことができます。MENU ボタンを短く押してメニューに入り、ダイヤルを回して < (4) > を選択し、SET ボタンを短く押してワイヤレス設定に入り、ダイヤルを回して SCAN オプションを選択します。SET ボタンを短く押して SCAN 設定画面に入り、ダイヤルを回して START を選択し、最後に SET ボタンを短く押すと、5% から 100% スキャンが表示され、スキャンが完了すると 8 グループの空きチャネルが表示されます。

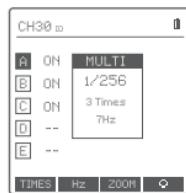


## モード設定

グループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、<MODE. LOCK> ボタンを短く押すと、選択したグループ別モードが変化します。

メニューの < (4) >-GROUPS(グループ別)が 5(A-E)(5 グループ別)に設定されて、< (5) > が (ON) になっている場合:

1. マルチグループモード表示の場合に <MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、マルチグループ表示モードが MULTI モードに切り替わることができます。グループ別選択ボタンを短く押してグループ別を選択し、<MODE.LOCK> ボタンを短く押してそのグループの MULTI モードを「ON」またはオフ(ー)にします。<MODE.LOCK> ボタンを短く押して MULTI を終了します。

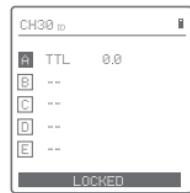


2. マルチグループモード表示の場合にグループ別選択ボタンを短く押してグループ別を選択した後、<MODE.LOCK> ボタンを押して TTL/M/-- モードで現在のグループモードを順次切り替えることができます。
3. シングルグループモード表示の場合に <MODE.LOCK> ボタンを短く押すと、TTL/M/OFF モードで現在のグループモードを順次切り替えることができます。



メニューの < (4) >-GROUPS(グループ別) が 16(0-F)(16 グループ別)に設定されている場合:

1. マルチグループモード表示とシングルグループモード表示は、M 手動モードのみがあります。< MODE LOC > ボタンを 2 秒間長押しすると、画面の下に「LOCKED」が表示され、現在の画面がロックされていることを示し、この時は何のパラメータも設定できません、もう一度 < MODE.LOCK > ボタンを 2 秒間長押しするとロックを解除できます。



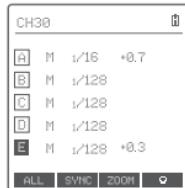
## 拡大機能

マルチグループ表示からシングルグループ表示への切り替え: マルチグループモードでグループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、< (4) > ボタンを短く押して、グループ別をシングルグループ表示モードに拡大し、< (4) > ボタンを短く押すとマルチグループ表示モードに戻ることができます。

## 段階値の設定(パワー設定)

### マルチグループ表示でMモードの場合

- グループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値がMin.~1/1またはMin.~10の間で変化し、各段階は0.1または1/3で増加されます。最後に<SET>ボタンを押して、このグループの電力出力値を確定します。
- 機能ボタン1(ALLボタン)を短く押すとすべての電力出力値が選択され、機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値はMin.~1/1またはMin.~10の間で変化し、各段階は0.1または1/3で増加され、最後に機能ボタン1(ALLボタン)を短く押してすべての電力出力値を確定します。



### シングルグループ表示でMモードの場合

- 直接機能選択ダイヤルを回して、その電力出力値はMin.~1/1の間で変化し、各段階は0.1または1/3で増加されます。

注: Min.は、MまたはMultiモードで設定できる最小出力値です。Min.の値は、MENU-STEPで設定された値によって異なります。最小出力段階(STEP)は全部で9種類あり、それぞれ1/128, 0.3, 1/256, 0.3, 1/512, 0.3, 1/128, 0.1, 1/256, 0.1, 1/512, 0.1, 3.0(0.1), 2.0(0.1), 1.0(0.1)です。ほとんどのセットトップラッシュでサポートされている最小出力は1/128または1/128(0.1)であり、GODOX社のAD600Proなどの大出力スタジフラッシュに合わせて、最小出力を1/256または1/256(0.1)に調整することができます。



## 露出補正装置

### マルチグループ表示でMモードの場合

- グループ別ボタンを短く押してグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して、そのFEC値が-3~3の間で0.3ずつ増加し、<SET>ボタンを短く押してこのグループのFEC値を確定します。
- 機能ボタン1(ALLボタン)を短く押すとすべてのFEC値が選択され、機能選択ダイヤルを回して、そのFEC値は-3~3の間で0.3ずつ増加し、もう一度機能ボタン1(ALLボタン)を短く押してすべてのFEC値を確定します。



### シングルグループ表示でTTLモードの場合

- 直接機能選択ダイヤルを回して、そのFEC値は-3~3の間で0.3ずつ増加されます。



## ストロボパラメータ設定(出力値、頻度、周波数設定)

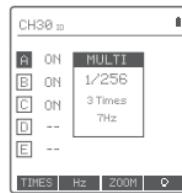
ストロボパラメータの設定条件: メニュー<(¶)>-GROUPSは5(A-E)を選択し、メニューストロボはON(オン)にする必要があります。マルチグループ表示の場合、<MODE.LOCK>ボタンを短く押してストロボパラメータ値設定画面に入ります。

- ストロボモードでは(TTLもMアイコンも表示されません)。
- 3行の表示内容は、それぞれ電力出力値(Min.~1/4)、Times(フラッシュ回数)、Hz(フラッシュ周波数)です。
- ダイヤルを回し、その電力出力値はMin.~1/4の間で全段階で変化します。

- 機能ボタン 1(TIMES ボタン)を短く押し、機能選択ダイヤルを回してフラッシュ回数を調整します。
- 機能ボタン 2(HZ ボタン)を短く押し、機能選択ダイヤルを回してフラッシュ周波数を調整します。
- 任意の項目または 3 項目の設定値を設定したら、<MODE,LOCK> ボタンを押して、ストロボパラメータ値の設定画面を終了します。

\* 注: フラッシュ回数はフラッシュ出力値と周波数に制約され、設定されたフラッシュ回数はシステム許容の上限値を超えてはなりません。受信機に送信された回数は、カメラのシャッター設定に関連した実際のフラッシュ回数です。

注: Min. は、M または Multi モードで設定できる最小出力値です。Min. の値は、MENU-STEP で設定された値によって異なります。最小出力値段階(STEP)は全部で 9 種類あり、それぞれ 1/128 0.3, 1/256 0.3, 1/512 0.3, 1/128 0.1, 1/256 0.1, 1/512 0.1, 3.0 (0.1), 2.0 (0.1), 1.0 (0.1) です。

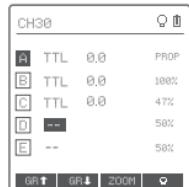


## 造形ランプ設定

- マルチグループ表示の場合に、機能ボタン 4 を短く押して、マルチグループの造形ランプをオン / オフにすることができます。
- マルチグループ表示の場合、グループ別ボタンを短く押してグループを選択します。機能ボタン 4 を短く押して、このグループの造形ランプの状態を切り替えることができます。オフ (-)、百分率 (10%-100%) または PROP(フラッシュの明るさに応じて変わる自動モード)の 3 つの状態があります。

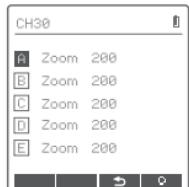
造形ランプが百分率状態の場合、機能ボタン 4 を長押しして造形ランプ輝度値設定画面に入り、出力値選択ダイヤルを回して必要な百分率を選択できます。シングル表示場合の操作も上記マルチグループ表示の場合と同じです。

(注: 現在、シングルグループ造形ランプスイッチを使用できるスタジオフラッシュの型番は以下の通りです: GSII, SKII, SKIV, QSII, QDII, DEII, DPII シリーズ、DPIII シリーズ、その他、屋外フラッシュ AD200、AD600 シリーズがアップデートされた後にこの機能を使用することができます。今後、新しく発売する造形ランプを含むフラッシュはすべて、この機能を使うことができます。



## ZOOM 値設定

機能ボタン 3 を短く押して表示画面に ZOOM 値が表示され、グループ別ボタンを短く押して変更するグループ別を選択し、機能選択ダイヤルを回して ZOOM 値は AUTO/24-200 で変化し、設定する ZOOM 値を選択し、最後に機能ボタン 3 を短く押して主画面に戻ります。



## ブザー設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <□> に回し、さらに <SET> ボタンを押してブザー画面に入り、選択ダイヤルを回して、<ON> オンにするか、<OFF> オフにするかを選択することができます。最後に <MENU> ボタンを短く押してメインメニューに戻ります。

<ON> を選択するとブザーが起動します。OFF を選択するとブザーがオフになります。

## PC ポート設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <PC> に回し、さらに <SET> ボタンを短く押して PC ジャック設定に入り、機能選択ダイヤルを回して IN または OUT を選択し、最後に <MENU> ボタンを短く押してメインメニューに戻ります。

IN を選択すると、カメラが送信機をトリガします。

OUT を選択すると、送信機がフラッシュをトリガします。



## SHOOT 機能設定

<MENU> ボタンを短く押してカスタム機能メニューに入り、機能選択ダイヤルを <SHOOT> に回し、更に <SET> ボタンを短く押して SHOOT 機能設定に入り、機能選択ダイヤルを回して 1 人撮影 / グループ撮影 / L-858 を選び、最後に <MENU> ボタンを短く押して主画面に戻ります。

**1 人撮影:** カメラで撮影するときに単写を選択し、M と Multi モードでは、マスター制御ユニットはスレーブ制御ユニットにのみフラッシュ信号を送信します。これは一人での撮影に適しており、省電力に優れます。



**グループ撮影:** カメラで撮影するときにグループ撮影を選択すると、マスター制御ユニットはパラメータとフラッシュ信号をスレーブ制御ユニットに送信します。これはグループ撮影に適し、電力の消費が速いです。

**L-858:** L-858 ライトメータを使用してフラッシュデータを直接設定し、送信機は同期信号のみを送信します。

## Bluetooth 設定

**Bluetooth MAC コードの表示:** MENU ボタンを短く押してメニュー/カスタム画面に入り、SET ダイヤルを回して (※) を選択し、次に SET ボタンを短く押して Bluetooth 設定画面に入り、Bluetooth MAC コードは右下隅に表示されます。

**Bluetooth リセット:** MENU ボタンを短く押してメニュー/カスタム画面に入り、SET ダイヤルを回して (※) を選択し、次に SET ボタンを短く押して Bluetooth 設定画面に入り、SET ダイヤルを回して 'RESET' を選択し、SET ボタンを短く押して選択画面に入り、SET ダイヤルを回して 'RESET' を選択し、再度に SET ボタンを短く押して確認画面に入り、SET ダイヤルを回して 'OK' を選択し、最後に SET ボタンを押して Bluetooth リセットを行い、リセット完了後に自動的に前の設定画面に戻ります。

## アプリダウンロード

QR コードをスキャンして「Godox Flash」モバイルアプリをダウンロードできます。(Android と apple システムの両方も利用できます)



詳細については、アプリ内の「使用方法」をクリックし、ここで詳しく教えてあげます。

注: 最初のモバイル デバイス(携帯電話またはタブレット)は、アプリを直接使用してランプ本体を制御できます。他のモバイルデバイス(携帯電話やタブレット)を交換する場合、アプリ接続を正常に使用するには、ランプ本体の Bluetooth リセットを行う必要があります。

Bluetooth の初期/パスワードは、000000 です。

## MENU: カスタムメニュー

以下のアプリケーション欄を参照して、カスタム機能を使用して設定してください。

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
((↑))	ワイヤレス	CH	32グループ: 1-32
		ID	OFF: オフ 1-99: 01-99から選択できます
		SCAN	OFF: オフ START: 空きのチャンネルのスキャンを開始します
	DIST	1-100m	1-100m: 1-100mフラッシュ 0-30m: 0-30mフラッシュ
		GROUPS	5(A-E): 5グループ別 16(O-F): 16グループ別
	Bluetooth	BLUE.T	OFF: Bluetoothオフ ON: Bluetoothオン
		RESET	CANCEL: 操作をキャンセルします RESET: Bluetoothをリセットします
		ON	フラッシュをオンにします
		OFF	フラッシュをオフにします
	DELAY	OFF	高速同期遅延をオフにします
		0.1ms-9.9ms	0.1ms-9.9ms: 高速同期遅延範囲
STEP	段階	1/128 0.3	最小出力段階1/128(各段階は1/3で増加されます)
		1/256 0.3	最小出力段階1/256(各段階は1/3で増加されます)
		1/512 0.3	最小出力段階1/512(各段階は1/3で増加されます)
		1/128 0.1	最小出力段階1/128(各段階は0.1で増加されます)
		1/256 0.1	最小出力段階1/256(各段階は0.1で増加されます)
		1/512 0.1	最小出力段階1/512(各段階は0.1で増加されます)
		3.0 (0.1)	最小出力段階3.0(各段階は0.1で増加されます)
		2.0 (0.1)	最小出力段階2.0(各段階は0.1で増加されます)
		1.0 (0.1)	最小出力段階1.0(各段階は0.1で増加されます)

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
SHOOT	1人撮影		カメラで撮影する時にM&Multiモードでフラッシュ信号のみを送信します
	グループ撮影		カメラで撮影する時にパラメータとフラッシュ信号(複数人の撮影に適す)を送信します
	L-858の使用	L-858	L-858ライトメータを使用してフラッシュデータを直接設定し、送信機は同期信号のみを送信します。
TCM	TCM変換機能	OFF	TCM変換機能をオフにします
		TT685II/V860IIIシリーズ	
	100j	AD100Pro	TTL撮影値をM出力値に変換し、混用するときはメインランプ型番が優先されます。TCM変換機能をオンにし、<MODE.LOCK>ボタンを押してTCM変換を行うことができます。
	200j	AD200	
	300j	AD300Pro	
	360j/400j	AD400Pro	
	600j	AD600, AD600Pro	
	1200j	AD1200Pro	
	伝統的なホット	OFF	伝統的なホットシューをオフにします
トシュー	ON		伝統的なホットシューをオンにし、TTLフラッシュを使用できず、高速同期フラッシュ機能がないです
	TRIGGER	トリガーフラッシュテスト	
PC	SHUTTER	シャッターフラッシュテスト	
	IN	入力側、カメラが送信機をトリガします。	
PCポート	OUT	出量側、送信機がフラッシュをトリガします。	
	OFF	ブザーをオフにします	
	ON	ブザーをオンにします	
z <sup>z</sup>	スリープ	60sec	60秒操作しないと、スリープモードに入ります
		30 min	30秒操作しないと、スリープモードに入ります
		60 min	60分操作しないと、スリープモードに入ります
		OFF	スリープ機能をオフにします
LIGHT	12 sec	12 sec	12秒操作しないと、LCDとボタンのバックライトが自動的に消灯します
	OFF		LCDとボタンのバックライトをオフにします
	ON		LCDとボタンのバックライトを常時オンにします
LCDコントラスト	-3~+3		コントラスト値の範囲: -3 ~ +3の整数

カスタム記号	機能	設定記号	設定説明
USER	事前設定の使用	SAVE	保存グループ: 1-5
		LOAD	ロードグループ: 1-5
CLEAR	データ削除機能	CANCEL	キャンセル
		CLEAR	メニューデータの削除

注: <  > の対応する機能ボタン 4 を短く押して前の設定に戻ることができます。

## 互換性のあるフラッシュ型番

送信機	受信機	フラッシュ型番
XPRO II L	---	V860IIシリーズ、V1シリーズ、AD100Pro、AD200、AD200Pro、AD300Pro、AD400Pro、AD600Pro、AD1200Pro、P2400 備考1: 上記フラッシュのファームウェアはXPro II Lフラッシュリーダーに対応する必要があります。 閃客IIIシリーズスタジオフラッシュ 注2: 上記のフラッシュファームウェアのバージョンは、XPro II Lフラッシュスイッチの高速同期フラッシュに対応できるように、V1.5以上でなければなりません。

注: 対応できる機能範囲: XPro II C とフラッシュ両方が備えている機能

## 互換性のあるカメラリスト

本機は以下の leica カメラモデルと互換性があります

SL2	SL	M10	CL	Q2
-----	----	-----	----	----

- この表は、現在試験されているカメラモデルのみを記載しており、leica のすべてのモデルは含まれていません。他のカメラモデルは、ユーザーが自分で試験することができます。
- 当社は、この表の内容を将来変更する権利を留保します。

**▲ 警告:** 一部の機種では、高速同期フラッシュ画面に明るいエッジが表示されます。  
一部の機種では、高速連続撮影でフラッシュ漏れが発生します。

## 仕様とパラメータ

型番	XPRO II L
互換性のあるカメラ	leica カメラに対応 (TTL自動フラッシュ)
電源供給	PC出力ポート付きのすべてのカメラ
2*AA電池	
露出制御	
TTL自動フラッシュ	備える
手動フラッシュ	備える
ストロボフラッシュ	備える
機能	
高速同期	あり(カメラで設定する)
リアカーテン同期	あり(カメラで設定する)
露出補正	±3EV(露出値)、1/3EVで増加する
露出ロック	備える
補助フォーカス	備える
造形フラッシュ	トリガーを介して造形フラッシュを制御できます
ブザー	トリガーを介してフラッシュのブザーを制御できます
ワイヤレスシャッター	受信機は2.5mm同期インターフェースを介してカメラの撮影を制御できます
ZOOM設定	送信機によってフラッシュの焦点距離値を調整できますAUTO、24-200選択可能
TCM	TTL撮影値をM出力値に変換させます
ファームウェアのアップデート	本体のUSB Type-Cポートを介してファームウェアのアップデートを行います
記憶機能	2秒設定後のパラメータを自動的に記憶し、再起動すると自動的に回復します
ディスプレイ	バックライトのオン/オフを切り替えるワイドスクリーン液晶表示
ワイヤレスフラッシュ	
伝送距離(約)	0-100メートル
ワイヤレス内蔵	2.4GHz
変調モード	MSK
チャンネル	32つ
ワイヤレスID	01-99
グループ別	グループ16
仕様	
寸法	95mm*62mm*49mm
正味重量	93g

## 工場出荷時の設定に戻す

同時に中央の 2 つの機能ボタンを 2 秒間長押しし、画面に RESET が表示され、下に CANCEL と OK の 2 つのオプションがあり、SET ダイヤルを回して OK を選択し、SET ボタンを短く押して、自動で主画面に戻り、工場出荷時の設定に復帰したことを示します。

## ファームウェアのアップデート

この機器は USB ポートを通じてファームウェアのアップデートを行うことができます。ソフトウェアの最新の公告と説明は公式サイトに発表されます。

注: 本製品は出荷時に USB アップデートケーブルが付属していないので、別途購入してください。本製品の USB ポートは USB Type-C であり、USB Type-C ケーブルを使用してください。ファームウェアのアップデートには、Godox G3 プログラムソフトウェアのサポートが必要です。ファームウェアをアップデートする前に「Godox G3 ファームウェアアップデートソフトウェア」をダウンロードしてインストールし、対応するファームウェアファイルを選択してください。製品のファームウェアがアップデートされたので、説明書の最新電子版をご参照ください。

## 注意事項

1. 正しくフラッシュできず、または撮影できない場合は、電池が正しく装入しているかどうか、およびフラッシュトリガーの電源を入れているかどうか、フラッシュトリガーが同じチャンネルに設定されているかどうか、接続ケーブルまたはホットシューが正しくしっかりと接続されているかどうか、機能モードが正しく設定されているかを確認してください。
2. カメラが撮影しかできず、フォーカスができない場合、本体またはレンズが MF マニュアルフォーカスに設定されているかどうかを確認し、AF オートフォーカスに設定してください。
3. お使いのフラッシュトリガーが他人のものに干渉されてフラッシュしたり、撮影されたりする場合は、フラッシュトリガーのチャンネル設定を変更してください。

## GODOX 2.4G ワイヤレスフラッシュ漏れの原因および解決策

1. **外部環境 2.4G 信号干渉(無線基地局、2.4Gwifi ルータ、Bluetooth デバイスなど)**  
フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定を調整し (+10 推奨)、干渉のないチャンネルを使用するか、使用中に他の 2.4G デバイスをオフにしてください。
2. **フラッシュが戻りまたは戻り速度が連写速度(フラッシュ準備完了インジケーター ランプが点灯)に追従しており、過熱保護またはその他の異常状態にないことを確認してください。**  
フラッシュの段階値を下げてください。TTL モードの場合は M モードに変更してください(TTL モードではプリフラッシュが必要です)。
3. **フラッシュトリガーとフラッシュとの距離が近すぎますか(距離 <0.5m)**  
フラッシュトリガーで「近距離ワイヤレスモード」をオンにし、MENU- (↑↓)-DIST を 0-30m に設定してください。
4. **フラッシュトリガーおよび受信機の電力が低いですか**  
(フラッシュトリガーの電池として、1.5V の使い捨てアルカリ電池を推奨)

## フラッシュトリガーの保守

- 落下防止:** 強い衝突や振動は、フラッシュトリガーの故障の原因となります。
- 乾燥状態を保持:** 本製品は防水製品ではありません、水に浸したり、高湿度の環境に置くと故障する可能性があります。内部構造が錆びると修理できない場合があります。
- 寒い日に暖かいビルに出入りするなどの温度の急変を避けてください。フラッシュトリガーの内部が結露する可能性があります。結露を避けるために、フラッシュトリガーを手提げ袋やビニール袋に入れておくと、温度の急変を防ぐことができます。
- 強い磁場から離れる:** 無線放送送信機などの機器で発生する強い静電気または強い磁場は、本製品の正常な動作を妨げる可能性があります。

## 製品の修理保証

ご使用者様、本修理保証カードは修理保証の申請用の重要な証明書でございます。販売店にご協力いただき、ご記入とご保管ください。ありがとうございます。

製品情報	型号	製品のバーコード
ご使用者情報	名前	電話番号
販売店情報	連絡先	
	名称	
	電話番号	
	連絡先	
	販売日期	
備考欄		

本表は販売店より捺印が必要。

## 適用な製品

本書類は『製品修理保証情報』(後記の説明をご覧ください。)に関する製品シリーズに適用して、そのほかの本範囲に属していない製品あるいは部品(セール品、贈り物、ほかの出荷後の添付した部品等)はこの修理保証承諾に属していません。

## 修理保証期間

製品及び関連部品との修理保証期間は『製品修理保証情報』で実施します。修理保証期間は製品を初めて購入するときから数えて、購入日は購入するときに修理保証カードで記入された日期を基準とします。

## 修理保証サービスの獲得方法

修理保証サービスを要求したら、直接に製品の販売店または授権されたサービス機構と連絡できます。神牛のアフターサービスに電話をかけることもできます。我々のサービス員はサービスを手配します。修理保証を申請するときには、証明書として有効な修理保証カードを提供して修理保証が得ることができます。有効的な修理保証カードを提供できないなら、我々は製品または部品が修理保証範囲に属することを確認したうえ、修理保証サービスも提供できますが、それはわれわれの義務となりません。

## 修理保証に適用しない場合

もし製品は以下の状況があるなら、本書類で記入された保証とサービスに適用しません。①製品または部品は相応な修理保証期間に超えること；②正しくなくて使用、メンテナンス、保管によって故障や損壊を起こすこと。例えば：不適当に運搬；製品の合理的な予期の用途で使用しないこと；不適当に外部設備を挿したり抜いたりすること；落ちることや押しつぶすこと；不適当な温度、溶剤、Ph、湿っぽい環境の中に置くこと；③神牛が授権されていない機構または整備員より取り付けたり、修理したり、変更したり、添付したりしたり分解したりすることで起こした故障と損壊；④製品または部品のもともとの標識マークが修正し変更されたり、削除されたりすること；⑤修理保証カードがないこと；⑥非合法な授権、標準街、公開されていないで発行するソフトウェアなどを使用して起こした故障や損壊；⑦不可抗力や事故で起こした故障や損壊；⑧ほかの製品自分で起こした故障や損壊ではないこと。上述の状況で、関連の責任者と解決対策を求めてください。我々はそれに対していかなる責任を持ちません。修理保証期間外や修理保証範囲外での部品、付属品、ソフトウェアなどで使用しなくなることについて、修理保証範囲内の故障ではありません。使用中、製品の正常的な脱色、摩耗と消耗は修理保証範囲内の故障ではありません。

## 製品の修理保証とサービスサポートとの情報

製品の修理保証期間とサービスタイプとは『製品修理保証情報』によって実施します。

製品類別	オプションの名称	修理保証期間	修理保証サービスの類型
部品	電気回路基盤	12	顧客より修理出し
	電池	3	顧客より修理出し
	充電器などの帶電性能の部品	12	顧客より修理出し
そのほか	ケース、保護カバー、包装等	なし	修理保証なし

神牛製品のアフターサービス電話番号: 0755-29609320-8062